

## 授業のユニバーサルデザイン化

－焦点化・視覚化・共有化について考える－

□平成28年6月15日(水) 於：鳥取市立修立小学校  
 □アドバイザー 明星大学発達支援研究センター 京極 澄子 研究員

### (1) 2つの公開授業への指導講評・講演

公開授業Ⅰ	1年2組	国語「おおきなかぶ」	授業者	博田和佐	教諭
公開授業Ⅱ	3年2組	国語「自然のかくし絵」	授業者	山本亮祐	講師

国語科説明文・文学指導のねらい

「論理」的な読み方

<説明文>

- ①要点
- ②問いと答え
- ③表現技法
- ④三段構成
- ⑤要旨や意図

<文学>

- ①作品の設定
- ②視点
- ③表現技法
- ④中心人物の変化
- ⑤主題

6年間の系統指導内容

↓  
 学年の指導内容

↓  
 単元計画

↓  
 1時間の指導の目標

### 1 焦点化

授業展開の構造化	
本時の目標：(展開1)を通して(山場)に気づき(展開2)することができる	
学習活動	
導入	「アンカーの打ち込み」モチベーション・参加意欲 「なんだか楽しそうだなあ」「えっ、何?」「やりたい!」「知りたい!」
めあて	「子供のめあて」「やってみよう。なぜかな。どれかな。」
展開1	問題解決のプロセス<アクティブ> 「教えられて理解する」から「考えて理解する」 しかけ
山場(足場)	「感嘆詞の発生」 「できた! わかった! これだ! おおー」
展開2	「普遍化・適用化・機能化・応用・発展」<ディープ> 「もっとやってみたい!」「もっと知りたい!」
まとめ	「言語化・原理化」各自の(教師の)評価につながるまとめ方 「この授業で、学んだのは、……だ!」

授業の山場「できた! わかった!」ときの児童の姿を想定し、逆算しながら、めあてをつかむ段階や導入を考えていく。

- 教材に「しかけ」をつくる
- ①順序を変える
  - ②選択肢
  - ③置き換える
  - ④隠す
  - ⑤加える
  - ⑥限定する
  - ⑦分類する
  - ⑧図解する
  - ⑨配置する
  - ⑩仮定する

<本時目標と授業展開との関連>

(展開1の活動)を通して、(山場の「できた! わかった!」内容)に気づき、(展開2の活動)することができる。

※ 授業の骨格が明確になり、流れがシンプルになる。

### 2 視覚化

- ・ICTによる見える化
- ・中心人物の変化ときっかけの見える化
- ・対比関係を色で見える化
- ・板書による展開の見える化
- ・劇化による話の内容の見える化
- ・主人公の変容が見える化

国語科で何を学ばせるかを明確にする + 苦手さのある子もわかる指導の工夫

### 3 共有化

- ・ヒントを言わせる
- ・考えを出し合う
- ・モデリング

授業展開の構造化(1年おおきなかぶ)	
本時の目標: (展開1)を通して (山場)に気づき (まとめの音読を)することができる	
学習活動	
導入	・範読を聞く <ダウト:<ま・小さな声・さっと> C おかしい C ちがう。だって…
めあて	かぶがぬける場面のようなやすや気持ちを考えよう
展開1	・かぶが抜けないときの気持ちを想像する(1~7場面) おじいさんは… おばあさんは… ・やっとかぶが抜けるまでのみんなの気持ちや会話を想像する ・「うんとこしょ、どっこいしょ」はどのように読む?
山場 (足場)	かぶが抜けたときの気持ちは…だ!
展開2	・やっとかぶが抜けたとき、みんなはどんなことを話したと思いますか C 吹き出しに書く
まとめ	・様子や気持ちがわかるように まとめ音読をする ・ふきだしに書いたせりふを、人物になりきって言ってみよう

授業内容は「内容→論理」の順

- ・導入
- ・展開1 (内容理解)
- ↓
- ・展開2 (論理)
- ・まとめ

- \* 展開1で山場を設定
- \* まとめは全員が表現する活動にする (評価)

授業展開の構造化(3年自然のかくし絵)	
本時の目標: (センテンスカードと写真の照らし合わせ)を通して (昆虫の色が身を隠すための手段であること)に気づき (身の隠し方カードにまとめる)ことができる	
学習活動	
導入	・音読(一文読み) C 5段落はO文 6段落はO文だ
めあて	トノサマバッタとゴマダラチョウは、どのように敵から身を隠しているのだろうか
展開1	・センテンスカードと写真を照らし合わせて叙述内容を確認する 緑色の草むらと緑のバッタ 褐色の枯草や落ち葉の上と褐色のバッタ ・ゴマダラチョウの幼虫の身の隠し方 周りの色の変化と体の色の変化
山場 (足場)	わかった! 色が似ているから敵が見つけれないんだ!
展開2	・トノサマバッタとゴマダラチョウの幼虫の身のかくしかたはどう違うか? C ペーパーサートで説明する
まとめ	・身の隠し方カードに記入する

「区切って学ぶ」から  
「つなげて学ぶへ」

- 場面ごと、段落ごとの読み  
指導内容の精選
- 前の段落とつないで関係を読む  
場面の様子、事例とまとめ
- 横ぐしにさす読み方  
段落をまたいで読む

心情の変化・くりかえし・三段構成

京極先生による模擬授業「モチモチの木」

横ぐしにさす読み方で主人公の心情の変化を捉える

- ①センテンスカードのダウトを探す → 考えさせたい言葉に焦点をあてる
- ②叙述に即して、場面ごとに「豆太は勇気があるか?おくびょうか?」考える。
- ③豆太は変わったのか、変わらなかったのかを自分で決めて、その理由を発表する。

(2) 研究発表大会へ向けてのアドバイス

①UD授業の学習指導案としてより改善すべきこと

本時の学習展開の中で、「想定されるつまずき」が明確になっているとよい。

②アンケート結果をもとにした研究成果のまとめ方

毎年行っている共通アンケートの4項目「学校が楽しい」「みんなで何かをするのは楽しい」「授業に進んで取り組んでいる」「授業がよくわかる」の4年間の推移を示し、その結果が日々の授業実践や学校の取り組みとどのような関連があるかを分析する。

③家庭学習を意欲的に取り組むための手立て

朝の会で、昨日行った自主学習をペアで紹介し合う活動を5分間取り入れる。互いにノートを見せ合いながら、調べてわかったことやがんばったことを伝え合うことにより、量の違いはあるが、どの子も自主学習をする習慣が身についてくる。最後に日直が、ペア相手の自主学習のよかったところをみんなに紹介して終わる。その自学ノートを貯めていき、「クラスで年間何冊になるか」という目標を掲げると年間を通して継続できる。